

みんなで考える 令和6年能登半島地震被災地への支援方法と 日頃からできる災害への備え ～災害時に活きた「つながり」とは～

場所：早稲田大学早稲田キャンパス3号館4階406教室

日時：令和6年10月20日（日）14:00～15:15

対象：どなたでも参加可能

参加費：無料

内容：(1)「つながり」をテーマとしたお話

①泉谷満寿裕様（石川県珠洲市長）

早稲田大学等とのつながりが活きた支援について

②加藤愛梨様（災害リスクコミュニケーター）

つながりが活きた復旧について ※お二人ともオンラインでのご出演

(2)お話を踏まえ、自分自身がどんなことができるか考える

申込先：

<https://forms.gle/TIk6TKxWPd84IgCt6>

※申込みなしの当日参加も可能ですが、参加人数把握のため、参加予定の方は事前にお申込みいただくと幸いです。

問い合わせ先

気象・防災稲門会会長 竹順哉

j.take.8177@gmail.com



泉谷 満寿裕様
石川県珠洲市長

早稲田大学政治経済学部卒業。1987年に野村証券入社。家業の泉谷菓子舗代表などを経て、2006年から現職。

発災直後に早稲田大学田中総長よりお電話があり、必要な支援について質問をいただき、その後、田中総長より日本財団を通じてWOTA社の移動式シャワーボックス55台、手洗いスタンド28台を届けていただき、自分が早稲田大学の卒業生であることを、改めて強く感じた瞬間であった。



加藤 愛梨様
災害リスクコミュニケーター

慶應義塾大学環境情報学部卒。高校在学時、阪神淡路大震災の聞き語りに参加し防災の世界に入る。事業継続（BCP/BCM）国際資格保有。NPO法人日本防災環境事務局長・理事。災害に強く持続可能性のあるまちづくりを企画・監修し、グッドデザイン賞2023、キッズデザイン賞2023、フェーズフリーアワード2023、ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2024最優秀賞を受賞。

令和6年能登半島地震では1月4日から被災地に入り、日本の未来のため伴走支援中。